

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

**※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。**

**1. 学校概要**

学校名 大牟田市立松原中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒836-0047  
福岡県大牟田市大正町5丁目-16

E-mail : matubara-js@st.omuta.fukuoka.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 126 名 女子 129 名 合計 255 名  
 児童・生徒の年齢 13 歳 ~ 15 歳

**2. 担当者** ※公表しません

**3. 実施活動（複数選択可）**

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( ESD の視点整理型 )

**4. 活動内容**

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

・視点整理型アプローチのねらい・・・総合的な学習の時間で取り扱うテーマや内容から【視点A】の大切さを子どもたちに感じさせ、学習を進める中で具体的な活動を通して【視点B】の能力や態度を子どもたちに身につけさせる

第3学年

○上級学校調べ学習（進路学習）

1学期に実施した進路学習の1つとしての上級学校調べ。活動のねらいは生徒の意識をこれからの体験入学や進路相談事業などの進路学習につなげること。

この学習でねらう視点を以下のように絞った。

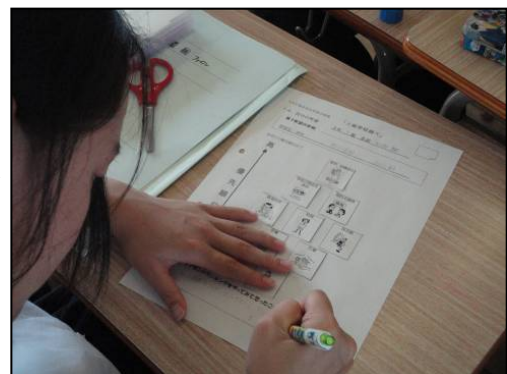
【視点A】	I. 多様性	様々な上級学校のことを知り、自分の進路には様々な選択肢があることを知る。
	VI. 責任性	訪問取材を通して、他人のために活動することの大切さを感じる
【視点B】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的、総合的に考える力</li> <li>・コミュニケーションを行う力</li> <li>・つながりを尊重する態度</li> </ul>	

自分の進学先について様々な条件面から考えることができる（多様性）ように、ダイヤモンドランキング（図1）を用いて進学条件の順位付けを行った。まずは班で話し合わせた後（写真1）、個人の考えを作らせ（責任性）（写真2）、それをもとに進学先の候補を考えることとした。



◎ 進学 conditions

- ・進学、就職状況
- ・取れる資格
- ・勉強内容
- ・部活動
- ・学校の施設、雰囲気
- ・行事
- ・学費
- ・制服
- ・通学手



【写真1】班でのダイヤモンド付けの様子

【写真2】個人でのランキング付けの様子



ダイヤモンドランキングを作成する際の手順を次のようにした。最初に班での意見交流→それぞれの意見を出し合って班としての1つのランキングを作成→個人でのランキングの作成。班での意見交流でお互いに多様な意見を聞き合い、それぞれが持っている情報を交換させた。そこで得られた様々な情報を元に、自分の考えを作り出すことをねらいとした。この活動を通して視点「B-③：多面的・総合的に考える力」をつけることが授業でのねらいである。

授業後には「班で話しているうちに〇〇高校はどうかと考えさせられた」、「自分が本当にどこに行きたいのか、どうゆうところに行きたいのかが見えてきた」、「自分の進路が見えてきたような気がする」などの感想がみられた（全体の3割程度）。ダイヤモンドランキングを通して意見を交流することにより、自分以外の見方や考え方を知り、それをもとに自分の考えを多面的な角度から見直し、新たな考えをつくり出すことができたものとする（感想1）。

【感想1】ダイヤモンドランキングを行った感想

**ダイヤモンドランキングをやってみて思ったこと**  
 高校で色々なことをがんばりたいと思う気持ちが強くなったし、班で話しているうちに、〇〇高校はどうかと考えさせられました。

**ダイヤモンドランキングをやってみて思ったこと**  
 川原位もけたことにより自分が本当にどこに行きたいのかがどうゆうところに行きたいのかが見えてきた。

B-③  
 多面的・総合的に  
 考える

また、班で話し合うことで、「自分の考えと人の考えが違うことにビックリした」という感想を持った生徒の割合が全体の3割ほどいた（感想2）。様々な上級学校（自分の選択肢の多様性）について知ることと同時に、高校を選ぶ基準は人によって様々であること（意見の多様性）を実感したようである。

【感想2】ダイヤモンドランキングを行った感想

**ダイヤモンドランキングをやってみて思ったこと**  
 班の考えると、自分には、けこう違ったことにびっくりした。高校でしたいと思ってることが違うと、やっぱり違うんだと思った。

**ダイヤモンドランキングをやってみて思ったこと**  
 進学や就職状況は将来のためにほんと大切だと思った。自分が考えているのと人から考えてるのかがちがっておもしろいなと思いました。

A-I  
 多様性

これらの結果から、今回の授業でねらった視点「B-③：多面的・総合的に考える力」を身につけさせること、及び単元のテーマを通してねらった視点「A-I：多様性」を感じさせることは一定の成果をあげることができたと考える。

今回の単元を通して、「持続発展可能な社会を担う生徒の姿」の成果について以下のよう  
に考えた。

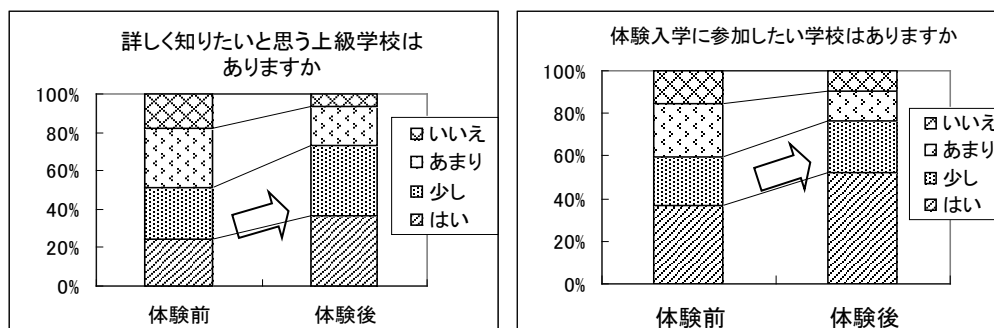
持続発展可能な社会を担う生徒の姿

- ・ 将来のことに対して興味や関心を持った生徒
- ・ 現在の状況から課題を見だし、その解決策を模索する思考力を備えた生徒
- ・ 課題の解決のために動き出すための行動力を備えた生徒

(ア) 興味や関心

単元の前後でのアンケート調査から詳しく知りたいと思う上級学校は増え、体験入学への参加意欲が上がった(グラフ1)。これからの進路選択に対する興味や関心が高まったものと考える。

【グラフ1】単元前後でのアンケート(上級学校調べ学習)



(イ) 思考力

進学する条件についてじっくりと考えさせたことで、将来の自分の姿と現在の自分とのつながりを感じ、これからの自分の行動について考えることができた(感想3)。

【感想3】生徒の感想

ダイヤモンドランキングをやってみて思ったこと

しょうがいは関係あることが、上に来ていて、やっぱり今は大切なんだな  
と、思いました。

ダイヤモンドランキングをやってみて思ったこと

自分が高校を卒業してからことを考えてランキングをつけていることがわかった。  
順位をつけるとなると、どれも必要だと思えてなかなかきまらないなと思いました。

現在と将来を  
つなげて

上級学校調べ全体を通しての感想

今回の上級学校調べでは、この高校はこれが有名らしいしか知らなかったけど、それぞれの高校の発表をまいていって流にこれおもしろそうかこの学科はこうゆう職業につけて自分にしてみたいものなのかもしれないとよく思いました。

(ウ) 行動力

図1はP子の進路選択の流れである。5月の進路希望調査では公立高校1つだけであったが、上級学校調べ学習後の体験入学では4つに申し込んだ。最終的には公立高校、私立高校ともに1つずつに決定したが、途中で選択肢が増えた。自分の進学先としていくつかの可能性を考え、その選択肢の中から実際に行動して見聞きした後、進学先を決定することができた。

【図1】P子の進路選択の流れ

	5月調査	上級学校調べ	体験入学	11月調査	志願先調査	3者面談
公立	A高校	上級学校調べ	A高校	A高校	A高校	A高校
私立			B高校	B高校	B高校	B高校
			C高校	C高校	C高校	C高校
			D高校		E高校	

最後に、今回の単元を通しての課題について考えた。

上級学校調べ学習の後、進学先の選択肢が増えなかった生徒や、体験入学に全く参加しなかった生徒もいた。P子のように5月の調査後に選択肢を増やした生徒の割合は3割程度と、それほど多くはない。また、Q男のように(図2)5月から選択肢が全く変化しなかった生徒の割合は2割程度である。

【図2】Q男の進路選択の流れ

	5月調査	上級学校調べ	体験入学	11月調査	志願先調査	3者面談
公立		上級学校調べ				
私立	A高校		A高校	A高校	A高校	A高校

